

## はじめに

本書をお使いになる方へ ix

## 問題紹介

I 文の文法 1 (文法形式の判断)	2
II 文の文法 2 (文の組み立て)	3
III 文章の文法	4

## 実力養成編

## 第1部 文の文法 1

## I ことがらを説明する☆

1課 ~とき・~直後に	8
1. ~際(に)	
2. ~に際して・~にあたって	
3. ~たとたん(に)	
4. ~(か)と思うと・~(か)と思ったら	
5. ~か~ないかのうちに	

2課 ~している(進行中)	12
1. ~最中だ	
2. ~うちに	
3. ~ばかりだ・~一方だ	
4. ~(よ)うとしている	
5. ~つつある	
6. ~つつ	

3課 ~後で	16
1. ~てはじめて	
2. ~上(で)	
3. ~次第	

4. ~て以来・~てこのかた  
5. ~てからでないと・~てからでなければ

## 4課 範囲の始まりと終わり・その間 20

1. ~をはじめ(として)
2. ~からして
3. ~にわたって
4. ~を通じて・~を通して
5. ~限り
6. ~だけ

## 5課 ~だけ 24

1. ~に限り
2. ~限り(は)
3. ~限りでは
4. ~に限つて

## 問題(1課～5課) 28

## 6課 ~だけではなく・それに加えて 30

1. ~に限らず
2. ~のみならず
3. ~ばかりか
4. ~はもとより
5. ~上(に)

## 7課 ~について・~を相手にして 34

1. ~にに関して
2. ~をめぐって
3. ~にかけては
4. ~に対して

5. ~にこたえて	4. ~はともかく(として)
<b>8課 ~を基準にして..... 38</b>	5. ~はさておき
1. ~をもとに(して)	<b>12課 強く否定する・強く否定しない ... 56</b>
2. ~に基づいて	1. ~わけがない
3. ~に沿って	2. ~どころではない・~どころか
4. ~のもとで・~のもとに	3. ~ものか
5. ~向けだ	4. ~わけではない・~というわけではない
<b>9課 ~に関連して・~に対応して ..... 42</b>	5. ~というものではない・ ~というものでもない
1. ~につれて・~にしたがって	<b>13課 ~ (話題)は ..... 60</b>
2. ~に伴って・~とともに	1. ~とは
3. ~次第だ	2. ~といえば
4. ~に応じて	3. ~というと・~といえば・~といったら
5. ~につけて	4. ~ (のこと)となると
<b>10課 ~や~など ..... 46</b>	5. ~といったら
1. ~やら~やら	<b>14課 ~けれど ..... 64</b>
2. ~というか~というか	1. ~にもかかわらず
3. ~にしても~にしても・ ~にしろ~にしろ・~にせよ~にせよ	2. ~ものの・~とはいうものの
4. ~といった	3. ~ながら(も)
<b>問題(1課~10課) ..... 50</b>	4. ~つつ(も)
<b>II 主觀を含めて説明する☆☆</b>	5. ~といつても
<b>11課 ~に關係なく・無視して ..... 52</b>	6. ~からといって
1. ~を問わず	<b>15課 もしそうなら・たとえそうでも ... 68</b>
2. ~にかかわりなく・~にかかわらず	1. ~したら・~とすれば・~とすると ~となったら・~となれば・~となると
3. ~もかまわず	2. ~ものなら
	3. ~ (よ)うものなら

4. ~ないことには	19課 ~を見て評価すると・ ～の立場で評価すると..... 86
5. ~を抜きにしては	1. ~わりには)
6. ~としても・～にしても・～にしろ・ ～にせよ	2. ~にしては
問題(1課～15課) ..... 72	3. ~だけ(のことは)ある
16課 ~だから(理由) -1 ..... 74	4. ~として
1. ~によって	5. ~にとつて
2. ~ものだから・～もので・～もの	6. ~にしたら～・～にすれば・ ～にしてみれば・～にしても
3. ~おかげだ／～せいだ	
4. ~あまり・あまりの～に	
5. ~につき	
17課 ~だから(理由) -2 ..... 78	20課 結果はどうなったか ..... 90
1. ~ことだし	1. ~たところ
2. ~のことだから	2. ~きり
3. ~だけに	3. ~あげく
4. ~ばかりに	4. ~末(に)
5. ~からには・～以上(は)・～上は	5. ~ところだった
18課 ~できない・困難だ・～できる ... 82	6. ~ずじまいだ
1. ~がたい	問題(1課～20課) ..... 94
2. ~わけにはいかない・ ～わけにもいかない	
3. ~かねる	21課 強く言う・軽く言う ..... 96
4. ~ようがない	1. ~ぐらい・～くらい
5. ~どころではない	2. ~など・～なんか・～なんて
6. ~得る／～得ない	3. ~まで・～までして・～てまで

### III 主觀を述べる☆☆☆

22課 ~だろうと思う ..... 100

1. ~とみえる
2. ~かねない
3. ~おそれがある
4. ~まい／~ではあるまいか
5. ~に違いない・~に相違ない
6. ~にきまっている

23課 感想を言う・主張する ..... 104

1. ~ものだ
2. ~というものだ
3. ~にすぎない
4. ~にほかならない
5. ~に越したことはない
6. ~しかない・~よりほかない
7. ~べきだ／~べきではない

24課 提案する・意志を表す ..... 108

1. ~（よ）うではないか
2. ~ことだ
3. ~ものだ／~ものではない
4. ~ことはない
5. ~まい／~（よ）うか～まいか
6. ~ものか

25課 強くそう感じる・  
思ひが強いられる ..... 112

1. ~てしかたがない・~てしまうがない  
~てたまらない

2. ~てならない

3. ~ないではいられない

~ずにはいられない

4. ~ないわけにはいかない

5. ~ざるを得ない

26課 願う・感動する ..... 116

1. ~たいものだ・~てほしいものだ
2. ~ものだ
3. ~ないもの(だろう)か
4. ~ものがある
5. ~ことだ
6. ~ことだろう・~ことか

問題(1課～26課) ..... 120

### IV 文法形式の整理

- A 元の言葉に着目 ..... 122
- B 「言う・する」を使った言い方 ..... 124
- C 古い言葉を使った言い方 ..... 126
- D 「もの・こと」を使った言い方 ..... 128
- E 「わけ・ところ」を使った言い方 ..... 132
- F 二つの言葉を組にする言い方・  
助詞 ..... 134
- G 文法的性質の整理 ..... 136

## だいぶんぶんばう 第2部 文の文法2

1課	文の組み立て-1 決まった形	140
2課	文の組み立て-2 名詞を説明する形式	142
3課	文の組み立て-3 「～ない」がつく文法形式	146

## だいぶんしょうぶんばう 第3部 文章の文法

1課	始めと終わりが正しく 対応した文	150
2課	時制	154
3課	条件を表す文	158
4課	視点を動かさない手段-1 動詞の使い方、 自動詞・他動詞の使い分け	162
5課	視点を動かさない手段-2 「～てくる・～ていく」 の使い分け	166
6課	視点を動かさない手段-3 受身・使役・使役受身 の使い分け	170
7課	視点を動かさない手段-4 「～てあげる・～てもらう、 ～てくれる」の使い分け	174
8課	指示表現「こ・そ・あ」 の使い分け	178
9課	「は・が」の使い分け	182
10課	接続表現	186
11課	省略・繰り返し・言い換え	190
12課	文体の一貫性	194

## もぎしけん 模擬試験

第1回	200
第2回	204
索引	208

べつ  
別冊  
さつ  
解答

# ほんしょ つか かた 本書をお使いになる方へ

## ほんしょ もくじき ■本書の目的

ほんしょ いのか てんわね もくじき  
本書は以下の2点を大きな目的としています。

にほんごのうりょくしけん たいさく しけん ごうかく なまら  
①日本語能力試験N2対策：N2の試験に合格できる力をつける。

にほんごのうりょく こうじやう しけんたいさく げんばんてき ぶんぽう なまら  
②「文法」能力の向上：試験対策にとどまらない全般的な「文法」の力をつける。

## にほんごのうりょくしけん ぶんぽうもんだい ■日本語能力試験N2文法問題とは

にほんごのうりょくしけん げんごもじき どつかい しけんじかん ふんしょ もうかく しけんじかん ふんしょ ふたつ  
日本語能力試験N2は、「言語知識・読解」(試験時間105分)と「聴解」(試験時間50分)の二つ  
に分かれています。文法問題は「言語知識・読解」の一部です。

ぶんぽうもんだい いのか みつけん ふんしょ  
文法問題はさらに以下の三つの部分に分かれます。

I 文の文法1 (文法形式の判断)

II 文の文法2 (文の組み立て)

III 文章の文法

## ほんしょ こうせい ■本書の構成

ほんしょ いのか こうせい  
本書は、以下のような構成になっています。

### もんだいしょくひ 問題紹介

じつけんくわいせいかん だい ぶん ぶんぽう  
実力養成編 第1部 文の文法1

I ことがらを説明する☆

II 主觀を含めて説明する☆☆

III 主觀を述べる☆☆☆

IV 文法形式の整理

だい ぶん ぶんぽう  
第2部 文の文法2

だい ぶん ぶんしょ  
第3部 文章の文法

### もぎしけん 模擬試験

いのか しょくひ せつめい  
以下に詳細を説明します。

### もんだいしょくひ 問題紹介

じつけんくわいせいかん だい ぶん ぶんぽう  
実力養成編 第1部 文の文法1

N2レベルの文法形式を意味機能別に学習します。どんな文脈でどのように使う

か、どんな文法的性質を持っているか、どのように整理して覚えるのが効率的か

などを例文と解説を通して学びます。各課に確認の練習問題(a～cの中から最

も良いものを選ぶ)があります。また、5課ごとに学習した課までの確認問題が

あります。

## 第2部 文の文法2

文を組み立てるために必要な知識を学習します。決まった接続のし方をする文法形式、決まった言葉と一緒に使われる文法形式、名詞を説明するときの決まった形などの観点から整理して学習します。

## 第3部 文章の文法

視点を統一したり接続表現や指示表現などの助けを借りたりすることで、文章は意味のあるまとまりを持ちます。このような文章にまとまりを持たせるための方

### 模擬試験

実際の試験と同じ形式の問題です。N3のレベルも含め、実力養成編で学習した広い範囲から問題を作っていますから、総合的にどのくらい力がついたかを確認することができます。

## ■凡例

文を作るときは、それぞれの文型に合うように前に来る語の形を整えなければなりません。

本書では接続の形を次のように表示しました。

品詞	接続する形	例
動詞	動ない形	会ってみない + ことには (第1部 15課)
	動ない	買わ + ずにはいられない (第1部 25課)
	動ます	わかり + 次第 (第1部 3課)
	動辞書形	行く + ことはない (第1部 24課)
	動う・よう形	しよう + ものなら (第1部 15課)
	動て形	見て + 以来 (第1部 3課)
	動た形	飲んだ + とたん(に) (第1部 1課)
	動ている形	している + 最中だ (第1部 2課)
イ形容詞	イ形 い	明るい + うちに (第1部 2課)
	イ形 くて	痛くて + しかたがない (第1部 25課)
ナ形容詞	ナ形	不安 + ながら(も) (第1部 14課)
	ナ形 等-な	正直な + ものか (第1部 12課)
	ナ形 等-である	簡単である + に越したことはない (第1部 23課)
	ナ形 -で	心配で + たまらない (第1部 25課)

名詞	名一の	学生の +うちに (第1部2課)
	名だーである	親である +限り(は) (第1部5課)
	名する (は)	経済の回復 +とともに (第1部9課)
その他	普通形	好きではない・連体だ +からといって (第1部14課) 成功した +とはいうものの (第1部14課)

(注) [名]する: 名詞に「する」がつく動詞(回復する、普及するなど)の名詞部分 回復、普及

接続のし方は次のように表示しました。

例1 「～にもかかわらず」(第1部14課)

❖ 名・普通形 ([ナ形]だーである・[名]だーである) +にもかかわらず

①名詞に接続します。([名詞]に直接接続します。)

例・悪天候にもかかわらず、工事の人たちは作業を続けている。

②普通形に接続します。

例・問題が難しかったにもかかわらず、受験生の成績は昨年より良かった。

・村田選手は途中で足を痛めたにもかかわらず、最後まで走り通した。

③ただし、[ナ形容詞]と[名詞]の現在肯定形は「～だ」の形ではなく、「～である」の形に接続します。

例・父は出勤時間が不規則であるにもかかわらず、いつも同じ時間に起きる。

・石井氏は議長であるにもかかわらず、会議に欠席した。

例2 「～ものか」(第1部12課)

❖ 普通形 ([ナ形]だーな・[名]だーな) +ものか

①普通形に接続します。

例・こんな不便なところに住めるものか。

・こんな初級の問題、難しいものか。

②ただし、[ナ形容詞]と[名詞]の現在肯定形は「～だ」の形ではなく、「～な」の形にして接続します。

例・あの人気が正直なものか。

・わたしが努力家なものですか。

\* [ナ形容詞]と[名詞]の現在肯定形の「～だ」を省略する場合、(だ)で示してあります。

\* 本書では、あまり使われない接続のし方は載せていません。

[復習] ・母は新聞を読むとき、眼鏡をかけます。

・窓を開けるとすぐに、涼しい風が入ってきた。

## 1 ~際(に)

→～とき 硬い言い方

①この整理券は、商品受け取りの際、必要です。

②こちらの会議室をご利用になる際は、受付で必要事項をご記入ください。

③アメリカの大統領は来日した際に、わたしたちの大学でスピーチを行った。

❖ 名・動辞書形/た形 + 際(に)

▲ 主に行行為や出来事を表す動詞(使う・完成するなど)・名詞(搭乗・外出など)につく。

一般的な場面などで多く使い、日常の普通のことにはあまり使わない。

## 2 ~に際して・~にあたって

→～するとき 硬い言い方

①工事関係者は工事を始めるに際して、近所の住民に挨拶をして回った。

②当ショッピングサイトのご利用に際して、以下のご利用条件をよくお読みください。

③新しく事業を始めるにあたって、しっかりと準備をしようと思っております。

④お二人の門出にあたりまして、お祝いの言葉を申し上げます。

⑤日本で国際会議を開催するにあたり、関係各方面からの協力を得た。

❖ 名・動辞書形 + に際して・にあたって

▲ その場1回だけの、意志的に特別な時を表す言葉(結婚・店を開くなど)につく。後には、主に行行為を表す文が来る。「～にあたって」は、より積極的な行動を表す言葉につき、マイナスイメージの言葉(別れ・入院・倒産など)にはつかない。



### 3 ~たとたん(に)

⇒～したら、直後に意外なことが起こる。

- ①山の頂上でワインを一口飲んだとたんに、めまいがした。
- ②夫は結婚前は優しかったが、結婚したとたんに、態度が変わった。
- ③母に電話をかけた。母の声を聞いたとたん、涙があふれてきた。
- ④僕が「さよなら」と言ったとたん、彼女は走っていってしまった。

**動**た形 +とたん(に)

⚠ 瞬間的な動きや変化を表す動詞(立ち上がる・変わるなど)につく。後の文は意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文(～ようなど)や働きかけの文(～ませんか・～なさいなど)は来ない。

### 4 ~ (か)と思うと・~ (か)と思ったら

⇒～の後、すぐに続いて次の出来事や大きな変化が起こる。

- ①林さんは部屋に入ってきたかと思うと、いきなり窓を全部開けた。
- ②赤ちゃんは今泣いたかと思うと、もう笑っている。
- ③やっと部屋が片付いたかと思ったら、子供たちがすぐまた散らかした。
- ④このごろは気温の差が大きい。昨日は暑くなかったかと思ったら、今日は涼しい。

**動**た形 + (か)と思うと・(か)と思ったら

⚠ 話者の行為については使わない。後の文は少し意外性のある内容。話者の希望・意向を表す文や働きかけの文は来ない。

### 5 ~か~ないかのうちに

⇒～が終わると同時に、次のことが起こる。

- ①一郎はベッドに横になるかならないかのうちに、ぐっすり眠ってしまった。
- ②わたしは夜が明けたか明けないかのうちに家を出て、空港へ向かった。
- ③あの作家は今売れっ子だ。話題作を発表したかしないかのうちに、もう次の作品に取りかかっているそうだ。

**辞書形/た形 +か+動ない形 +かのうちに**

⚠ 瞬間的な動きや変化を表す動詞(着く・終わるなど)につく。後には、話者の意向を表す文や働きかけの文は来ない。「～(か)と思うと・～(か)と思ったら」より、「ほとんど同時に」という気持ちが強い。

1



2

- 1 父は( )に際して、医者にいろいろ質問した。

a 病気が回復する      b 手術を受ける      c 毎日病院へ行く

2 研修旅行に際して、( )。

a 体調が良くなかった      b 天候が気がかりだった      c 説明会が開かれた

3 ( )にあたって、必要な書類を準備した。

a 出勤する      b 留学する      c 図書館へ行く

4 新しいオフィスへの移転にあたりまして、( )。

a 気持ちも新しくなりました      b 非常にうれしいです  
c 一言ごあいさつ申し上げます

3

- 1 ( ) とたん、眠くなつた。

a 勉強が終わつた      b 勉強をした      c 勉強をしていた

2 ( ) とたんに、気分が悪くなつてしまつた。

a ゴールに向かつていた      b ゴールに近くなつた      c ゴールインした

3 彼女はわたしの顔を見たとたんに、( )。

a 泣き出した      b あいさつした      c うれしそうだった

4 電車が駅に着いたとたん、( )。

a 友達に電話をしよう      b 乗客が大勢乗り込んできた  
c 乗りかえのホームに行つた

### か 3課 条件を表す文

文章としてのまとまりを持たせるために、ある条件をどう扱うかがポイントになることがあります。あることを仮定するのか、実現した条件(確定)として考えるのか、後に来る文はどうつながるのか、などが文の流れを決める要素になります。

#### A 条件を表す文(「と・ば・たら・なら」「ても」を使う文)の用法-基本的注意

◆文末の制限: 話者の希望・意向を表す文や働きかけの文が来るか・来ないかに注意する必要があります。

例 × 夏休みになると、国へ帰りたい。

○ 夏休みになると、寮が静かになる。

○ 夏休みになつたら、国へ帰りたい。

× そのDVDを借りれば、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りれば、連休中退屈しないだろう。

○ そのDVDを借りるなら、後でわたしにも見せてください。

○ そのDVDを借りたら、後でわたしにも見せてください。

× テレビを見たいのに、今日は我慢しよう。

○ テレビを見たいのに、見られない。

○ テレビを見たくても、今日は我慢しよう。

◆前の文との関係: まだ実現していないこと(仮定)か・実現したこと(確定)かに注意する必要があります。

##### a) 実現していないこと

例・将来医者になりたい。  
医者になるなら、免許を取らなければならない。  
医者になれば、多くの命が救えるのではないだろうか。  
医者になつたら、地元の病院で働きたい。  
医者になっても、この地方に住み続けたい。

##### b) 実現したこと

例・彼は医者になった。  
医者になつたのなら、地元の病院で働いてほしい。  
医者になつたら、毎日とても忙しくなったようだ。

**練習1** ( )に入る文として、適当なものを選びなさい。

1 a この計画案は承認されるだろうか b この計画案は承認された

①( )。承認されないと、次の計画が立てられない。

②( )。承認されるとすぐに問い合わせが殺到した。

2 a 課長に事情をよく説明してみるつもりだ b 課長に事情を詳しく説明した

①( )。あれだけ丁寧に説明すればわかってくれるだろう。

②( )。詳しく説明すればわかってくれるだろう。

3 a 引っ越すかどうか迷っている b あした引っ越す c 先週引っ越しした

①( )。引っ越ししたら、友達をうちに呼んで飲み会をしようと思う。

②( )。引っ越ししたら、通勤が楽になった。

③( )。もし会社の近くに引っ越ししたら、通勤が楽になるだろう。

4 a 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎないようにしよう

b 今年の新年会ではお酒を飲み過ぎた

①( )。こんなに飲んでは体に悪いだろう。

②( )。あまりたくさん飲んでは体に悪いだろう。

**練習2** どちらか適当な方を選びなさい。

1 今のような人間不信の社会では、正直であることが大切だ。人々が正直で(①a なかったら  
b ないにせよ)、ますます人を信じることができなくなる。人を信じることは(②a 難しいと  
なれば b 難しいにしても)、信じようと(③a 努力しないことには b 努力しようも  
のなら)、何事も始まらない。そして、人を信じることが(④a できなければ b できなく  
ても)、人と協力し合うことはできない。だからこそ正直でありたい。(⑤a 正直であっても  
b 正直であるにしろ)必ず信じてもらえるとは限らないけれど……。

2 地球温暖化の問題が深刻だ。このように深刻な状態に(①a なるとすると b なっては)、  
もう解決方法はないのではないかと思ってしまう。このまま温暖化が(②a 進むとすれば  
b 進むとしても)、それによる被害はさらに広がるだろう。今の日本の状態では、被害がさら  
に(③a 拡大しようものなら b 拡大したとなったら)経済的な損害は多大なものになつ  
てしまう。何か対策を(④a 考えないことには b 考えないとなれば)国民の不安は消えな  
だろう。



まとめ 次の文章を読んで、文章全体の内容を考えて、□1から□5の中に入る最もよいものを1・2・3・4から一つ選びなさい。

自分の財布の中のお金は自分のものだ。自分のお金で買った本は自分のものだ。また、自分が今□1、持ち主として登録した土地は自分のものだ。このように、形があるものはだれが持ち主かわかりやすい。わずか1円でも、他人のものを□2 どろぼうになってしまう。しかし、実物を手で触ることが□3、人の所有物として守らなければならないものがある。文学や音楽などの作品とか、デザインや発明などである。これらのものはつくった人、考え出した人の大切な財産である。実際に値段はついていないので、売ってすぐにお金に換えることは□4、お金や土地と同じように、「持ち主はわたしです」と主張することができる。このような、芸術作品やデザインや発明などの「持ち主」の権利を、「知的所有権」という。知的所有権は「これはわたしが考えてつくったものだから、わたしのものです」と主張する権利である。つまり、他人の知的所有物を使って経済活動を□5、許可を得なければならぬということになる。

□1

- |          |            |
|----------|------------|
| 1 住んでいれば | 2 住んでいなければ |
| 3 住んでいても | 4 住んでいなくても |

□2

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 盗んだら    | 2 盗んでも    |
| 3 盗まなかつたら | 4 盗んだとしても |

□3

- |         |          |
|---------|----------|
| 1 できても  | 2 できなくても |
| 3 できる場合 | 4 できない場合 |

□4

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 できるにしても  | 2 できるとなつたら |
| 3 できないにしても | 4 できないとしたら |

□5

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 したら    | 2 する場合は   |
| 3 するとしても | 4 しないとしても |